



9月の園だより

令和2年9月1日

毎日暑い日が続きますが、暦では秋です。店頭では、秋物の商品が並びはじめました。

子ども達は泥んこあそび、水あそびと夏の遊びを楽しんでいます。これからは、自然と触れ合いながら秋の季節を感じさせていきたいと思えます。

〈体育まつりの日程〉

日時：10月17日(土) 9:30~11:00
 場所：潮見小学校グラウンド(雨天時は中止)
 参加：月組・雪組園児とその保護者各家庭2名まで
 月組・雪組以外の園児は、可能な限りお休みのご協力をお願いします。

〈発表会の日程〉

現在のところ、11月29日(日)午前中にアルカス SASEBO イベントホールにて行う予定です。詳細が決まりましたら、改めてご連絡します。

今月の引き落としは、9月15日(火)です。

〈ご意見・ご要望〉
 特にありませんでした。

SAKURA COLUMN

♪ゾーン♪

人気番組「チョコちゃんに叱られる」で「子どもが縁石の上を歩きたがるのは？限界に挑戦して己の能力を高めるため！」とチョコちゃんが言っていました。子どもは動作の手掛かり(アフオーダンス)を見つけると本能的にチャレンジしようとしています。その課題が自分にとって限界ぎりぎりの挑戦だった場合、集中力がアップし、通常以上の力を発揮します。この時の楽しさ・充実感をゾーン(フロー)体験と言います。自園が取り組んでいる藤森メソッドの考える遊びのゾーンは、まさにこれを指しています。子どもは自ら環境を選び、チャレンジし、ゾーン体験を重ねることで本能的に己の能力を高めているのです。【参考：藤森平司著「見守る保育」、聖隷クリストファー大学准教授細田直哉「チョコちゃんに叱られる」より】

〈避難訓練〉

8月18日(火)に避難訓練を行いました。

【9月の行事予定】

月	火	水	木	金	土
	1 英会話(月)	2	3	4	5
7	8 体育教室 (月・雪)	9	10 絵画教室(月)	11	12
14	15 英会話(月)	16 誕生会	17 絵画教室(月)	18	19
21	22	23 太鼓(月)	24 絵画教室(雪)	25	26
28	29 体育教室(月・雪)	30			

コロナ禍
の今

スマホの使い方を要チェック！！

スマホの利用を一概に否定するものではありませんが、子どもの発達においては様々な影響があるということを理解した上で、使用する時間帯や場所、目や健康を配慮した使い方のルールを各家庭で決めることが必要です。スマホと上手に付き合っていくために、利用の仕方を今一度振り返ってみてはいかがでしょうか？

●スマホに子守をさせないようにしましょう。

“ぐずる子どもをおとなしくさせるツール”と考え、子どもに渡して使わせているとどんどんスマホに依存していき、スマホをせがんで、取りあげると泣いて暴れ、子育てはかえって大変になります。子ども期は、心とからだの基礎作りの大切な時期です。自分を信じる気持ちや思いやり、体力・運動能力を育てるには、直接的に人と物に関わることが欠かせません。



●実は怖い...スマホ。子どもの大切な目を守りましょう。

一生の視力を左右する乳幼児期。子どもの視力の発達は、6歳までが勝負になります。また、この時期は、ピント合わせや眼球運動も発達していきます。ピントや眼球運動は、後に読み書きや集中力にも関係してきます。また、近視の進行が早まることと斜視になる例も多く報告されています。

2歳未満の使用は控え、スマホは1日の合計利用時間は、1時間以内にとどめるようにして、体をたくさん動かしましょう。



●少しでも望ましい利用となるように...

子どもがスマホを一人で見ているだけでは、受け身となり好ましくない動画を見ることにもなりかねません。保護者が一緒に見て“〇〇やさしいね”悲しいね”等内容に関わる感想を話しかけ会話したり、折り紙や体を動かすダンスの動画等一緒にできるものを選び、心も体も親子で楽しめるコミュニケーションツールとして遊びに活用しましょう。



●スマホの利用は、ベットや布団に入る1時間前には終わらせましょう。

幼児期に睡眠が不足すると、子どもの心身の成長を損なうだけでなく、将来の睡眠障害や生活習慣病などのリスクを高めます。また、ブルーライトという光が、体内時計を調節するホルモン分泌と関係していて、生活リズムにも影響があり、良い睡眠ができなくなります。



睡眠が大切！

“何時に寝て、何時に起きる”と厳密に決めることよりも、添い寝や本を読んで楽しい環境を作り、眠ることが気持ちよくて、体にいいという子どもへの意識づけが重要です！

小さい時は一瞬です。今しかないこの時間を、

親子で楽しめる素敵な時間になりますように...



まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすいい日が増えてきました。元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気を付けましょう。



防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

子どもの低い目線に合わせて家の中を点検してみましょう。
床に小さなものが落ちていることはありませんか？

ーチェックー

- 薬や洗剤、たばこなどの出しっ放しや子どもの手の届く所に置いていませんか？
- ポットや炊飯器は子どもの手の届く所に置いていませんか？
- ベランダに踏み台になるものを置いていませんか？
- 刃物は子どもの手の届かない所にしまっていますか？
- 食べ物を食べさせながら遊ばないようにしていますか？
- 浴室は子どもが1人で勝手に入れないようにしていますか？
- コンセントガードなどでいたずらが出来ないようにしていますか？



防災の日

9月1日は「防災の日」です。いざという時に備えて、ぜひ家族全員で確認をしてください。

〈非常時の持ち出し品の準備〉

リュックの中には非常時の持ち物を詰めておきましょう



〈避難する場所〉

避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう



〈地震で倒れやすい物がないか〉

棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物などは固定するなどの工夫をしましょう



〈家族がはぐれた場合の連絡方法〉

はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう



近年、色々な災害が起こっています。ご自宅での備えはいかがでしょうか？

裏面には避難の際にあったら良いもののリストを載せています。その他にもご宅ならではの物もあるかと思えます。リストをみながら、ご家庭でもお話されて、独自の避難袋をぜひ、ご用意されてみて下さい。



世帯用非常持ち出し袋

準備するもの	メモライターのコメント
1 懐中電灯・ラジオ・予備の電池	乾電池式のものがあると便利です
2 携帯の充電器	
3 水	水は500mlのペットボトルが直接飲みやすく便利です。 一人1日1リットルが目安
4 食料 おやつ	3日分食べ慣れているものを用意。疲れていると甘いものがほしくなるし、子どもも落ち着くのでおやつも用意。 粉末のイオシロ飲料やミネラル剤もあるとベター
5 救急袋	マスク・包帯・絆創膏・消毒薬・風邪薬・整腸剤・うがい薬・常備薬等
6 現金、印鑑	硬貨で3,000～5,000円ほど
7 母子手帳・健康保険証等のコピー	母子手帳は出生時の情報と予防接種の記録ページをコピー。 健康保険証、免許証、通帳、保険証書のコピー
8 家族分の下着・靴下・帽子	下着や靴下は家族全員のを最低1日分。乳幼児は下着を多めに
9 タオル・手ぬぐい・軍手	
10 雨合羽	両手があくので傘より合羽。 予備がなければいつでも使用しているものを避難時に入れたい
11 ウェットティッシュ・消毒用アルコール トイレットペーパー	断水時に使用
12 ポリ袋	ゴミ、保温、汚れ物入れ、雨具の代わり
13 小さなバツク	エコバツクなど軽いもの
14 ラップ	食器の上に被せて使用。包帯の代わり、体に巻いて保温
15 家族等の連絡先を書いたメモ	家族の携帯、祖父母の連絡先等
16 家族の写真	避難所で家族を探す時等
17 ボールペン・油性ペン・メモ帳	避難所や自宅にメッセージを残す時や記録用
18 プロポオイル	避難所では何日もお風呂に入れない等匂いの問題も。 おススミはトイレウレ。殺菌作用があり、うがい薬にもなります
19 生理用品・おりものシート	生理用品は1週間分があると安心。 下着が要えられない時はおりものシートを交換
20 化粧水・乳液・ハンドクリーム 歯磨きセット	消毒用アルコールで手が荒れるのでハンドクリームかプロポイルを マスクで口元しか隠れないので、眉を描きたい人が多いそう。 避難所の鏡でお化粧はしにくいので自分用の小さい鏡を用意
21 鏡・眉筆	
22 オムツ・おしりふき	オムツは5日～1週間分
23 子どもの着替え	子どもの着替えを最低1日分
24 子ども用爪切りハサミ	普通のハサミとしても使用
25 コップ、スプーン、フォーク	子どもの食事・うがい用
26 哺乳瓶・ミルク・離乳食(乳用)	ミルクや離乳食が必要な乳児
27 おもちや	月齢に合った子どもの好きなおもちや。 子ども用リュックに入れて背負わせても可

消毒用アルコールの安全な取扱いについて

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、手指の消毒等のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えています。一般に消毒用アルコールの物性として、次の特徴があります。

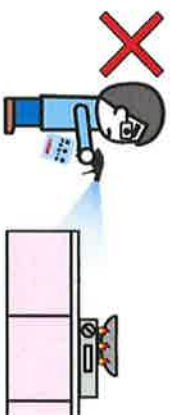
アルコールの火災予防上の特徴

- 火気に近づけると引火しやすい。
- アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く、低いところにたまりやすい。

このため、ご家庭や事業所などにおいて、消毒用アルコールを使用する場合、下記に示す火災予防上の一般的な注意事項に十分注意の上、安全に取り扱ってください。

火災予防上の一般的な注意事項

☆ 消毒用アルコールを使用するときは、火気の近くで使用しないようにしましょう。



☆ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意しましょう。また、詰め替えた容器に“消毒用アルコール”や“火気厳禁”などの注意事項を記載してください。



☆ 消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。



☆ 消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与えることのないように気をつけてください。



☆ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰め替えなどにより、アルコールの可燃性蒸気が滞留するおそれがある場合には、通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。また、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことは避けましょう。

